

第 93 回 地区内中小企業景気動向調査結果

(平成 24 年 1～3 月期実績・平成 24 年 4～6 月期見通し)

1. 調 査 時 点 平成 24 年 1 月 1 日～3 月 7 日

2. 調査対象企業数 175 社中回答 174 社 回答率 99.4%

区 分	調査対象企業の範囲	調査対象企業数	有効回答数	有効回答率 (%)
製 造 業	従業員 300 人以下	39	39	100.0
建 設 業	〃	44	43	97.72
卸 売 業	従業員 100 人以下	7	7	100.0
小 売 業	従業員 50 人以下	54	54	100.0
サ ー ビ ス 業	〃	31	31	100.0
合 計		175	174	99.4

3. 調 査 方 法

当金庫調査員の面接聞き取りによる感触調査です。

調査対象企業は、当金庫の営業区域（新冠町～広尾町）内に所在する企業とし、その抽出は、各業種・規模等の基本属性の構成が、調査対象母集団の属性に見合う一定基準に基づいて有意抽出で行っています。

4. 分 析 方 法

各質問項目で「増加（上昇）」したと回答した企業の全体に占める構成比と、「減少（下降）」したと回答した企業の全体に占める構成比との差（判断指数・D I 値）を中心にして分析を行っています。

なお、同時に信金中央金庫 地域・中小企業研究所が行う、全国調査結果と地区内との比較分析を行っています。

5. お問い合わせ先

日高信用金庫 業務部地域貢献課 (TEL. 0146-22-4114、内線 621)

〒057-0013 浦河郡浦河町大通 2 丁目 31 番地 2

全業種総合 174 企業（回答率 99.4%）の調査結果です

□ 概 況

今期（平成 24 年 1～3 月期）の業況判断D Iは△56.3 と、前期（平成 23 年 10～12 月期）△38.8 比 17.5 ポイント下降した。3 四半期期続いた緩やかな改善の動きが一服し、ほぼ 1 年前の水準（平成 23 年 1～3 月期△56.4）に戻った。全業種で悪化傾向がみられる。

売上額D I △58.0 は、前期比 32.8 ポイント、収益D I △15.5 は、同比 6.0 ポイントそれぞれ下降している。売上額、収益は全業種で悪化となっている。

来期（平成 24 年 4～6 月期）の予想業況判断D Iは△53.5 と、今期実績比 2.8 ポイントの小幅な上昇見通しとなっている。業種別にみると、製造△30.8、卸売△42.8、建設△51.2、小売り△64.8、サービス△67.8 と来期を見通している。

【業種別天気図】

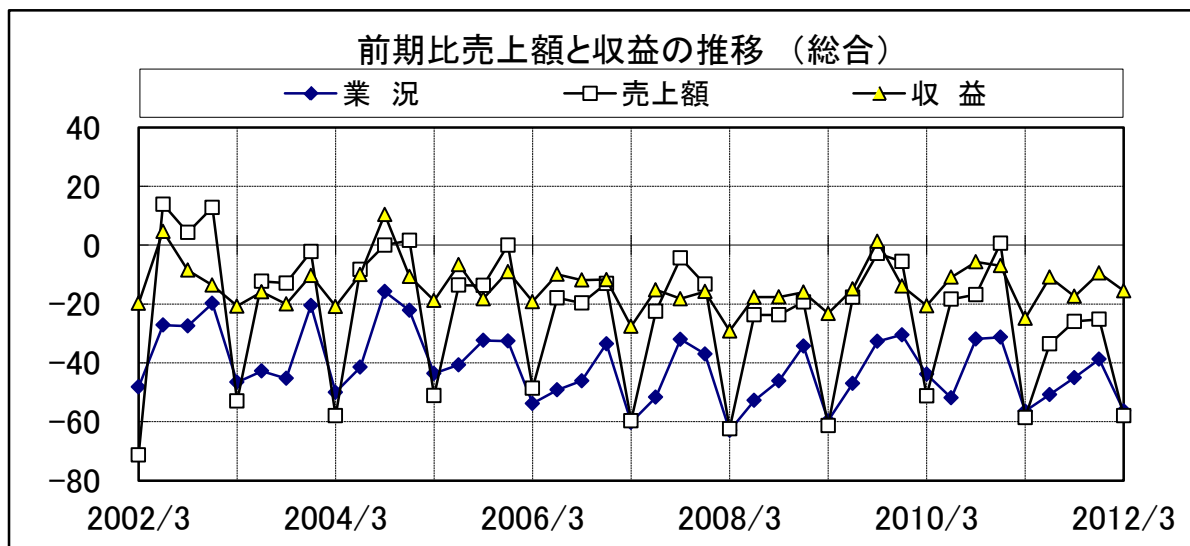
時期 業種	地 区 内				北 海 道	全 国
	23 年 7～9 月	23 年 10～12 月	24 年 1～3 月	24 年 4～6 月 見 通	当 期	当 期
総 合						
製 造 業						
建 設 業						
卸 売 業						
小 売 業						
サ ー ビ ス 業						
好調 ← → 低調 この天気図は、景気指標を総合判断して作成したものです。						

□ 景 況

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
業 況	-45.0	-38.8	-56.3	-53.5
売上額	-25.9	-25.2	-58.0	-21.3
収 益	-17.4	-9.5	-15.5	-25.3

全業種総合の今期の業況判断DIは△56.3と、前期比17.5ポイント下降した。地区別にみると、三石地区で僅かに上昇した以外は、他の地区で下降している。

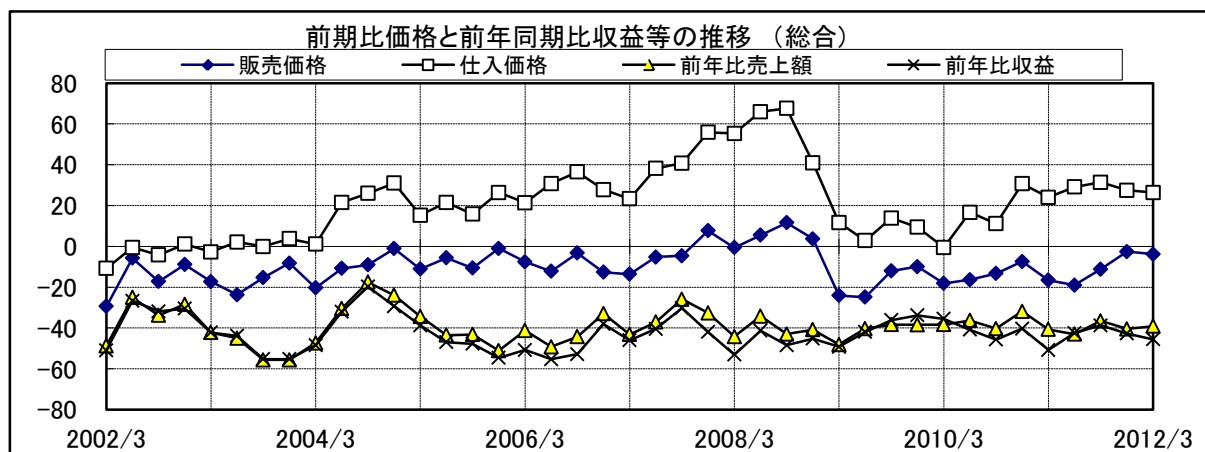
売上額判断DI△58.0は前期比32.8ポイント下降し、収益判断DI△15.5も同比6.0ポイント下降した。



□ 価格面、前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
販売価格	-11.2	-2.6	-3.8	-5.2
仕入価格	31.4	27.5	26.4	16.1

販売価格判断DI△3.8は、前期比1.2ポイント下降、価格低下基調を強めている。仕入価格判断DI26.4は、前期比1.1ポイント下降、価格上昇基調を弱めている。業種別にみると、販売価格は建設、サービスで上昇、製造で低下した。卸売、小売はほぼ横ばい。仕入価格は、建設、小売、サービスで上昇、製造、卸売で下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
残業時間	-12.9	-5.6	-18.4	-20.6
人手状況	1.7	-10.7	5.2	0.6

残業時間判断DI△18.4は、前期比12.8ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断DIは5.2と、プラス水準となり、前期比15.9ポイント上昇、人手過剰感を強めている。

□ 設備投資の動き

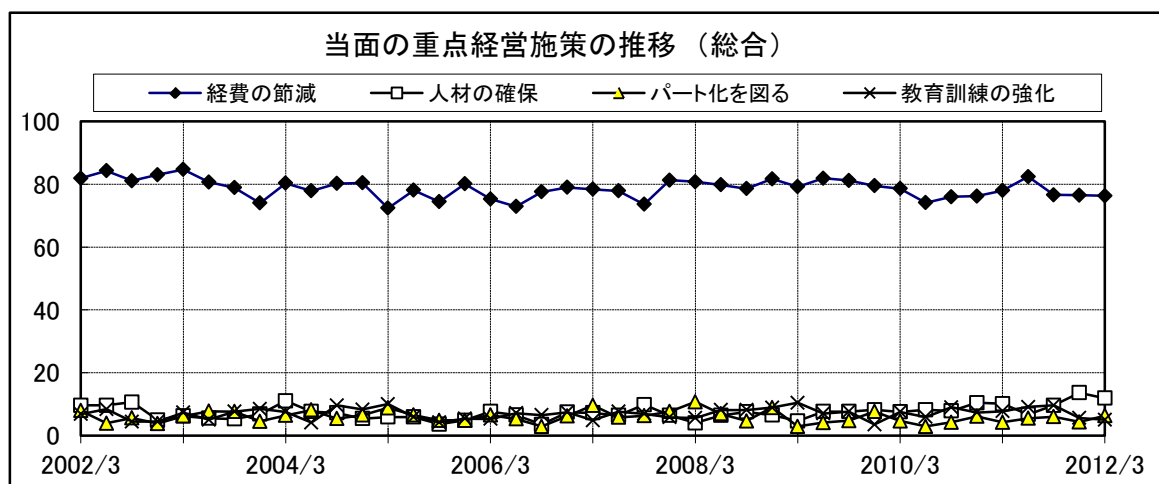
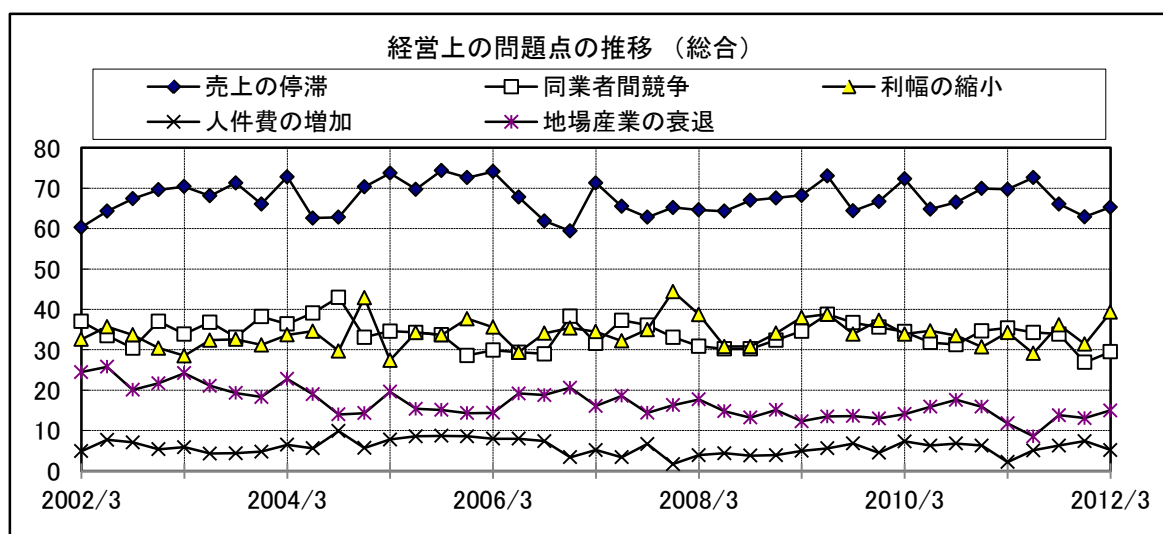
設備投資の充足感を示すD Iは△12.1と前期△15.1から3.0ポイント上昇、不足感を弱めている。これに対し適正と回答した企業は77.5%と、前期75.9%から、1.6ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は16.7%と前期18.5%から1.8ポイント下降。件数で前期の33社に対し29社の実施となった。来期の設備投資は、当期比8社減の21社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」が65.3%で最も多く、次いで「利幅の縮小」39.3%、「同業者間との競合」29.5%、「地場産業の衰退」15.0%と続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」が76.3%で突出している。次いで人材の確保11.9%、パート化を図る6.3%、教育訓練強化、不動産の有効活用が5.0%の順となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△53.5と、今期△56.3と比べ2.8ポイント上昇の見通しとなっている。

予想売上額判断D I △21.3は、今期△58.0と比べ36.7ポイント上昇の見通しとなっている。予想収益判断D I △25.3は、今期△15.5と比べ9.8ポイントの下降を見通している。予想販売価格判断D I △5.2は、今期△3.8と比べ1.4ポイント下降、価格低下基調が強まる見通しとなっている。一方、予想仕入価格判断D I 16.1は、今期26.4と比べ10.3ポイント下降、価格上昇基調が弱まる見通しとなっている。

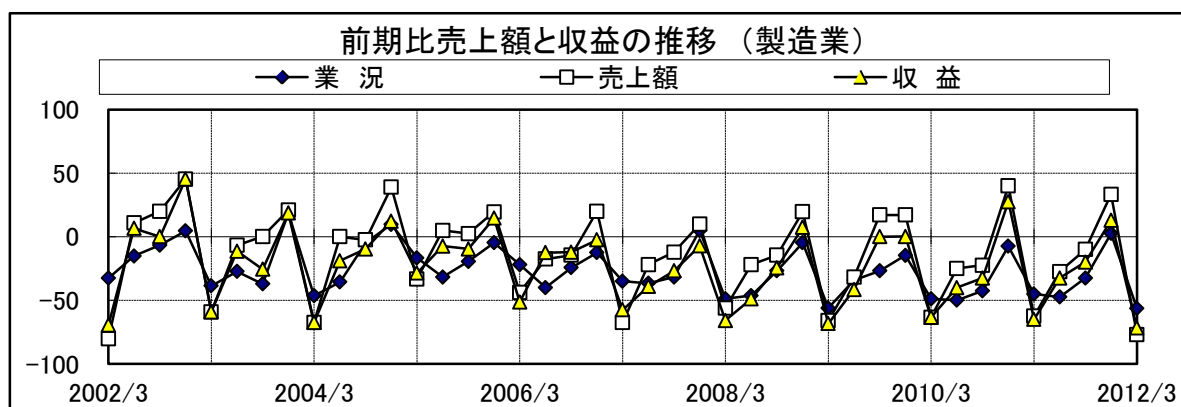
製造業 39 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
業 況	-32.5	2.5	-56.5	-30.8
売上額	-10.0	33.3	-76.9	-2.6
収 益	-20.0	12.8	-71.8	2.6

今期の業況判断DIは△56.5 と、前期比プラスからマイナス水準へと転じ、59.0 ポイント下降した。全地区で下降している。

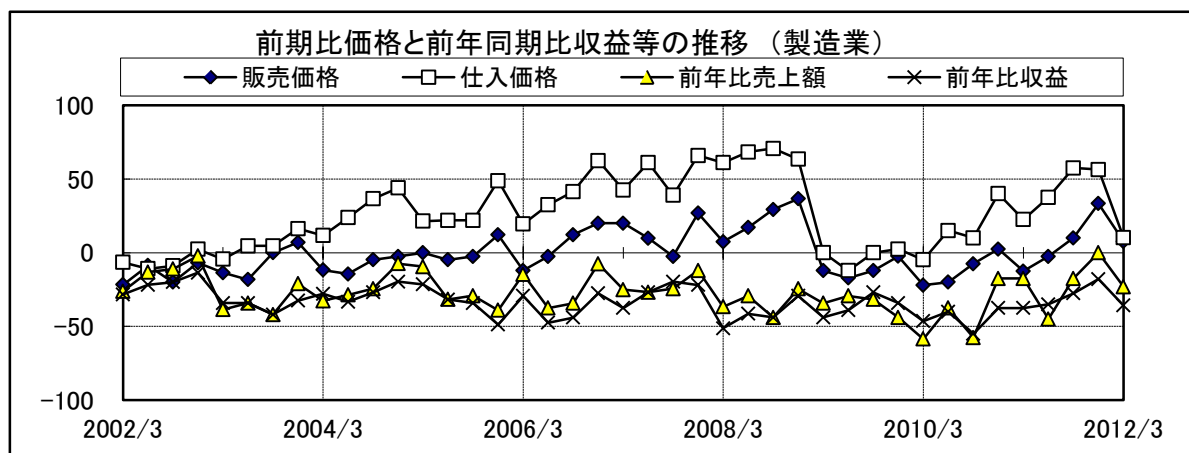
売上額判断DI△76.9 は、前期比マイナス値に転じ、110.2 ポイント下降した。収益判断DI△71.8 は、同比マイナスに転じ、84.6 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
販売価格	10.0	33.3	7.7	2.6
仕入価格	57.5	56.4	10.3	7.7

販売価格判断DI 7.7 は、前期比 25.6 ポイント下降、価格上昇基調を弱めている。仕入価格判断DI 10.3 は、前期比 46.1 ポイント下降、価格上昇基調を弱めている。業種別にみると、食品が販売、仕入価格ともに下降し、木材は販売価格が上昇、仕入価格は下降している。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
残業時間	-12.5	23.0	-25.6	-10.3
人手状況	5.0	-23.1	10.2	12.8

残業時間判断DIは△25.6 と、前期比マイナス水準に転じ、48.6 ポイント下降。残業時間が減少したとする企業割合が増加した。人手過不足判断DIは 10.2 と、前期比プラス水準に転じ、33.3 ポイントの上昇で、人出過剰感を強めている。

□ 設備投資の動き

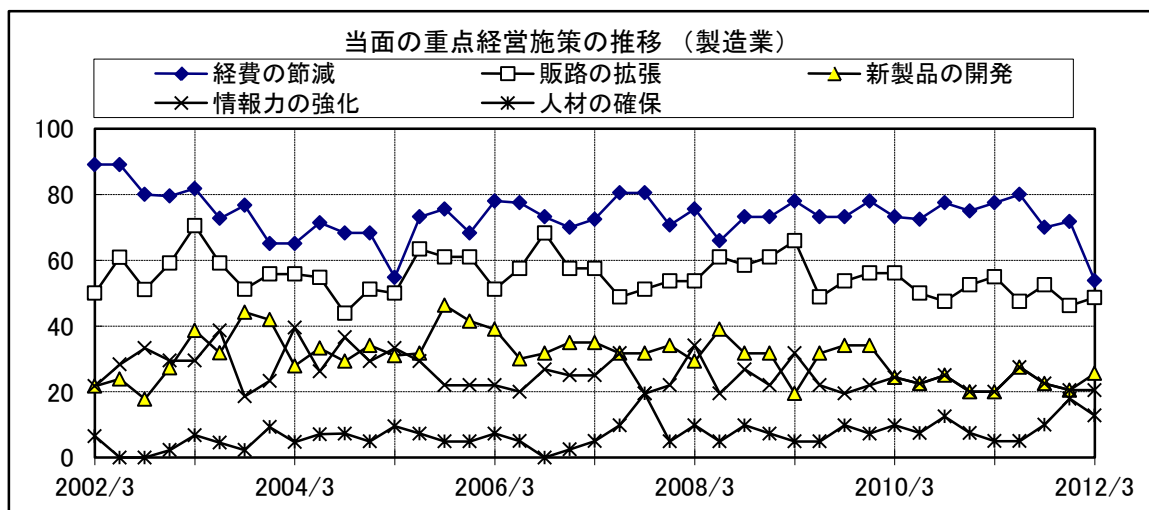
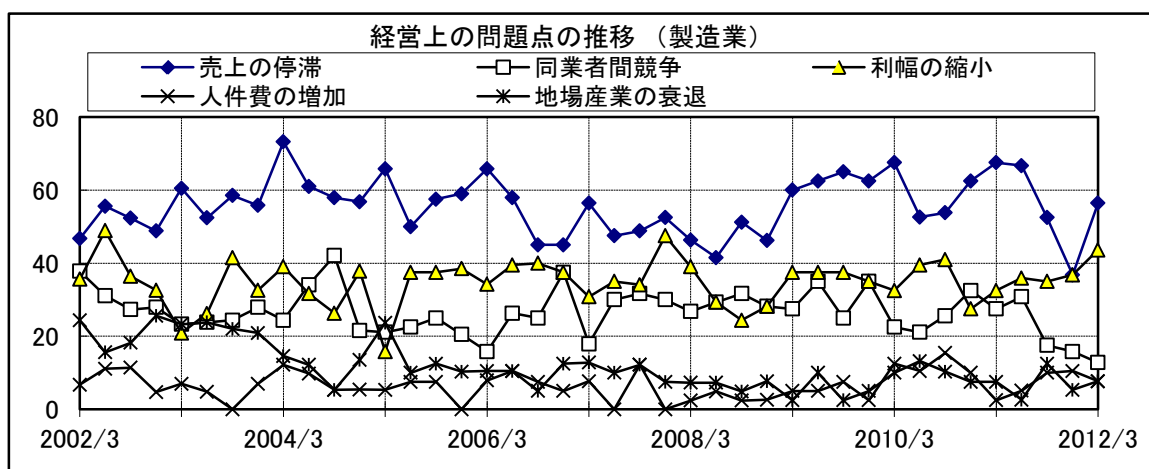
設備投資の充足感を示すD Iは△20.5 と、前期と同値となった。適正と回答した企業も 74.3%と、前期と同値となった。

設備投資実施企業割合は 17.9%と、前期比横ばい。件数でも前期同様 7 社の実施となった。来期の設備投資は、当期比 3 社減の 4 社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」をトップに挙げ 56.4%、次いで「原材料高」48.7%、「利幅の縮小」43.6%、「工場機械の老朽化」が 20.5%と続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ 53.8%、次いで「販路の拡張」48.7%、「新製品を開発する」25.6%、「情報力を強化する」20.5%、「提携先を見つける」、「人材を確保する」12.8%の順となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△30.8 と、今期△56.5 と比べ 25.7 ポイントの上昇見通しとなっている。予想売上額判断D I △2.6 は、今期△76.9 と比べ、 74.3 ポイントの上昇を見通している。予想収益D I 2.6 は今期△71.8 と比べ、 74.4 ポイントの上昇見通しとなっている。予想販売価格判断D I 2.6 は今期 7.7 と比べ 5.1 ポイント下降し、価格上昇基調が弱まる見通しとなっている。予想仕入価格判断D I 7.7 は、今期 10.3 から 2.6 ポイント下降し、価格上昇基調が弱まる見通しとなっている。